

東大校友会ニュース

April 2018

U T o k y o
A l u m n i
A s s o c i a t i o n
N e w s

no. 34

contents

- 2 | 東京大学校友会の取り組み
数字で見る東京大学校友会・寄附実績
- 6 | 2017ホームカミングデイ報告
- 10 | 本郷キャンパス
戦後・そして現在
- 12 | 同窓会だより
- 14 | 2018ホームカミングデイお知らせ/
TFTのご案内

東京大学校友会の 取り組み

東京大学校友会は卒業生・卒業生団体を中心に在學生、教職員を含む東京大学コミュニティです。2004年の国立大学法人化とともに発足した東京大学校友会は、今、組織と活動の両面で充実の時を迎えています。国内外の卒業生ネットワークから、在學生へのキャリア支援、さまざまな学びのプログラムまで、東京大学校友会の取り組みの姿をご紹介します。

数字で見る東京大学校友会

Alumni

住所、もしくはメールアドレス等を把握している卒業生数です。

107,500名 / 413,393名

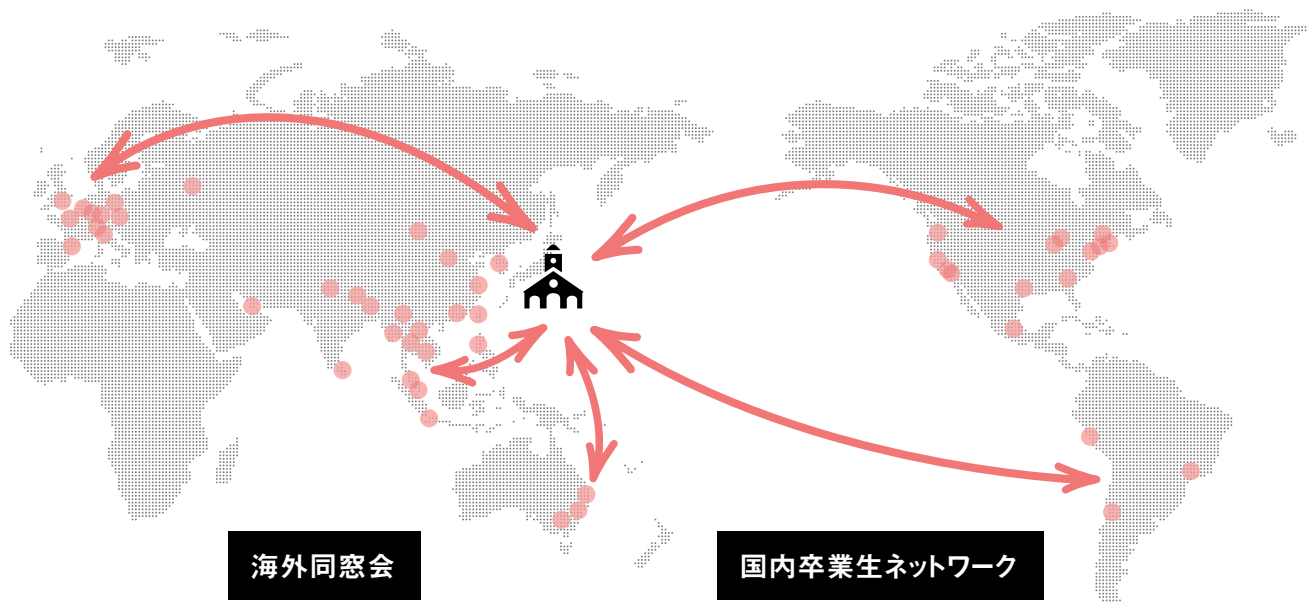
オンラインコミュニティTFT登録者数

(2018/1/25時点・物故者も含む)

43,447名

1,694 2006年度

43,447 2017年度 (1月25日時点)



53 団体

247 団体

卒業生向け学びのプログラム

ビジネスパーソンや世代を超えた学びの場として、東京大学のリベラル・アーツの世界、知の最前線をつなぎます。

275名 (2017年度)

生涯学習プログラム

春期、秋期の年2回開講しているグレーター東大塾の参加者数。2018年春期のテーマは「アメリカ」。

91名 (2017年度)

学生支援プログラム



新入生歓迎パーティー

157名

2017年4月に開催。

前期過程に入学したばかりの学生を対象に、教養学部の先生、卒業生と歓談。



海外大学院留学説明会

約 (2017年度)

300名

理系・文系を含む多様なバックグラウンドを持った留学経験者たちが、疑問に答える説明会。年2回開催。



朝食キャンペーン

1,483名

2017/9/25~10/6のうち平日10日間に実施。



高校生のためのオープンキャンパス

450名

未来の東大生や同伴保護者のために休憩スペースと無料飲料を提供。最新の東京大学動画、広報物・寮に関する資料等を配布。



キャリア支援参加学生

827名

卒業生による面接演習・講演会・交流会を開催。またキャリアサポート室で開催した「合同会社説明会」にも「卒業生ブース」を開設。

体験活動提案

学部学生がこれまでの生活と異なる文化・価値観に触れるプログラム。国内外の各卒業生団体の協力により、多様なプログラムを提案した。

海外

プログラム参加者

137名

17企画採用

23企画

国内

プログラム参加者

39名

20企画採用

76企画

東京大学校友会 サポーター 始動!



昨年3月、ご自身のスキルや経験を活かして、卒業生活動に参加していただく、校友会サポーターを募集。今年2月に開催した面接演習には銀行・商社・外資系・メーカーOB等が参加し、エントリーシートを持参した学生に具体的なアドバイスをしてくださいました。

参加学生の声

「本番さながらの雰囲気面接していただき、大変満足しています」

「今まで気づかなかった事を指摘され、自信につながりました」

「様々なバックグラウンドをもたれた方と面接出来たのは、貴重な機会です」

「採用の立場のご意見は有り難かったです」

— 大学に貢献する校友会。皆さんのキャリアが支えています —

「サポーターを募集しています」

現在約30名の卒業生がサポーターとして登録しています。

「在学生へのメンタリング」、「就活生の模擬面接」、「海外同窓会や地域拠点での活動サポート」、「ホームカミングデイ運営スタッフ」等、皆さんのキャリアを活用してください。

※応募者には東京大学校友会スタッフが面談をさせていただきます。

お申し込み 東大アラムナイサイトをご覧ください。

数字で見る 東京大学基金の寄附実績 (2017年3月31日現在)

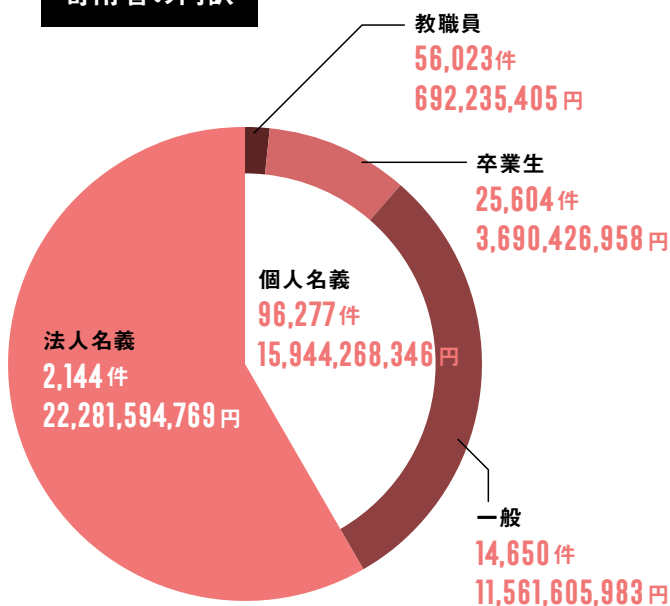
東京大学基金を設置(2004年)してからの寄附実績(累計)は以下の通りです。

※円グラフの割合は金額ベースです。

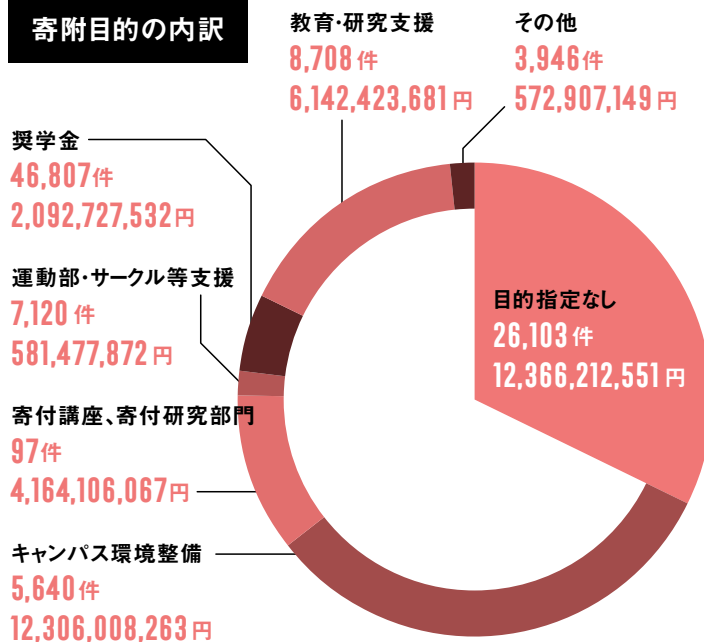
申込総数と総件数

38,225,863,115円 98,421件

寄附者の内訳



寄附目的の内訳



東京大学寄附金に関する税制上の優遇措置

個人

所得税の寄附金控除を受けることができます^{※1}

寄附金額^{※2} - 2,000円 = 所得控除額

さらに 対象自治体^{※3}では住民税の控除を受けることができます

(寄附金額^{※4} - 2,000円) × 住民税控除率^{※5} = 住民税控除額

- ※1 寄附目的が「修学支援事業基金」「さつき会奨学金基金」の場合は、税額控除も適応可能。
- ※2 控除対象となる寄附金額は、その年の総所得金額等の40%が上限。
- ※3 寄附をした翌年1月1日に埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県にお住まいの方。
- ※4 控除対象となる寄附金額は、ご寄附された年の総所得金額等の30%が上限。
- ※5 住民税控除率の詳細は東大基金のウェブサイトをご覧ください。

法人

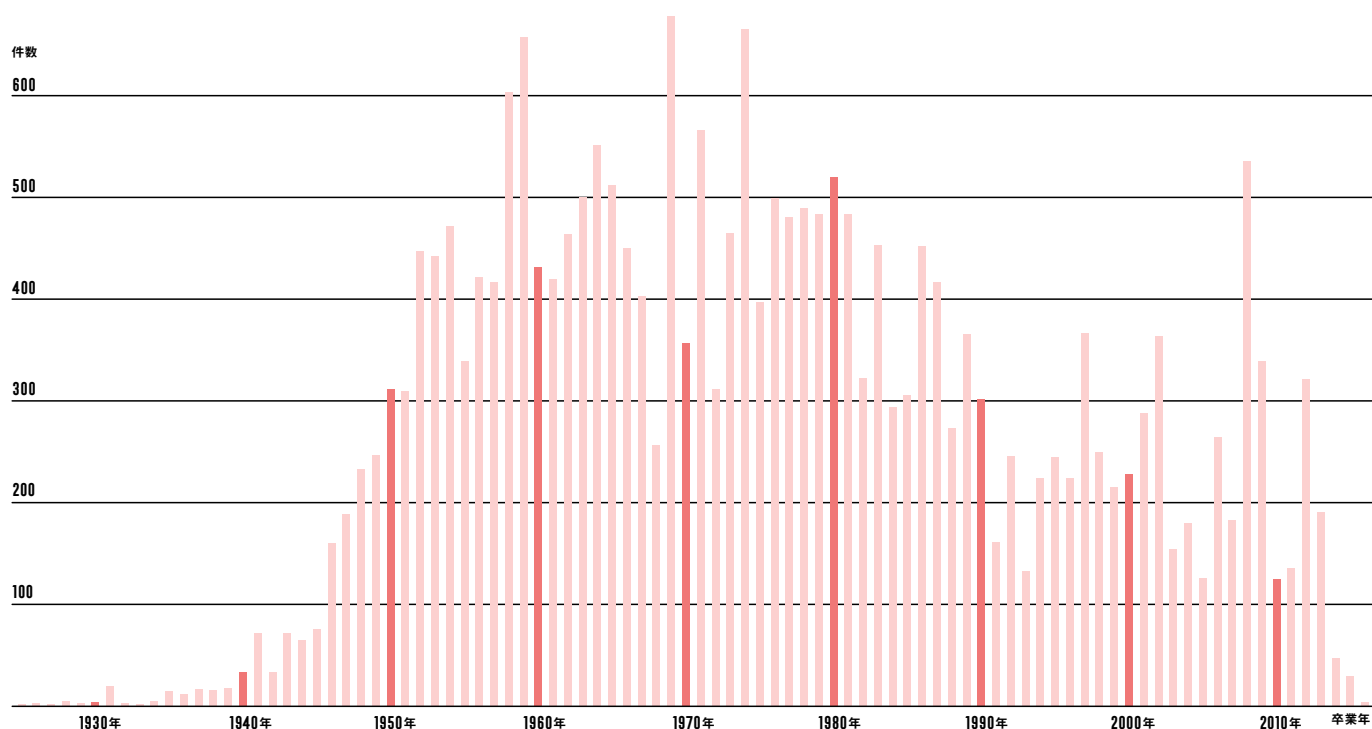
法人の税制上の優遇措置

法人が行った寄附のうち、「指定寄付金[※]」については、その金額を損金算入することができます。

※国立大学法人の業務に対する寄附金など、財務大臣が指定した寄附金。

卒業生寄附の内訳（卒業年度データ比較）

※ 卒業生ではあるが、学部等、卒業年の記載がないものは、データには含んでいない。



寄附金額に応じて称号が授与されます。

称号別の人(件)数

	称号	個人	法人団体
賛助会員	10万円以上のご寄附	3,105	112
貢献会員	30万円以上のご寄附	2,768	175
功労貢献会員	100万円以上のご寄附	517	144
特別貢献会員	500万円以上のご寄附	44	58
栄誉会員	1,000万円以上のご寄附	75	188
特別栄誉会員	1億円以上のご寄附	25	54



ご寄附全般のお問い合わせ

東京大学基金事務局
03-5841-1217
(土日祝除く
9:00~12:00、13:00~17:00)

東京大学校友会支援基金

「校友会の財源拡充へご協力ください！」

東京大学校友会は2004年にスタートして以来、卒業生のためのイベント開催、会報誌の発行、国内外の同窓会設立支援に加え、在学生向けのプログラム展開など、活動内容を飛躍的に拡充しています。新たなプログラム展開のため、校友会活動への一層のご支援をお願いいたします。

ご芳名の内容

(2018年2月16日までのお申し込み実績)

2017年4月以降、東京大学校友会支援基金にご支援いただいた方のうち、芳名録記載を希望された方。「氏名・金額の掲載を希望しない」にチェックされた方は匿名。

校友会支援会員

★/5万円以上のご寄附



5万円以上ご寄附をいただいた方にはバッジを贈呈。

東京大学校友会支援基金寄附者芳名（お申込み順）

★島田 久弥殿 / ★神澤 俊介殿 / 久保 銈司郎殿 / 匿名 / 石渡 晋太郎殿 / 東京銀杏会殿 / 野村 光司殿 / 匿名 / ★阿久津 大成殿 / ★松木 則夫殿 / 匿名 / 外資系銀杏会殿 / 森 和博殿 / ★倉科 喜一殿 / 高森 厚太郎殿 / 渡邊 博殿 / 匿名 / 皆見 春生殿 / 匿名 / 匿名 / 落合 健一殿 / 和田 暁彦殿 / ★中山 国明殿 / 新上 幸二殿 / 森脇 浩一殿 / 匿名 / ★村尾 通泰殿 / ★匿名 / ★木下 修殿 / 文野 千年男殿 / 櫻田 光雄殿 / 匿名 / 落合 金光殿 / ★坪井 健司殿 / ★浦部 晶夫殿 / 竹田 美雄殿 / 守谷 哲郎殿 / 匿名 / ★杉山 健一殿 / 野村 博殿 / ★藤田 将史殿 / ★五神 真殿 / 和田 政勝殿 / ★高橋 照美殿 / 森田 高志殿 / ★匿名 / ★匿名 / 原田 照之殿 / 近藤 正俊殿 / ★寺澤 恒夫殿 / 匿名 / 小川 克也殿 / 匿名 / 藤村 祐二殿 / ★岡本 泰三殿 / ★匿名 / ★松永 忠功殿 / 谷口 健彦殿 / ★匿名 / 匿名 / 青木 修一殿 / ★田淵 康治殿 / 小嶋 善吉殿 / 大野 泰雄殿 / 匿名 / ★三田 和美殿 / 半明 和夫殿 / 匿名 / 青木 勝重殿 / ★尾崎 雅彦殿 / ★土肥 利満殿 / ★牧野 知弘殿 / 小栗 厚紀殿 / ★匿名 / ★長谷川 隆寛殿 / ★吉田 司殿 / ★小林 利彦殿 / ★中 信一殿 / ★匿名 / ★匿名 / 山本 東明殿 / ★竹田 駿輔殿 / ★小宮山 宏殿 / 匿名 / 土屋 徳男殿 / 山崎 泰弘殿 / 東大校友会幹事有志殿 / 匿名 / 匿名 / ★匿名 / 匿名 / ★相原 博昭殿 / 富田 祐貴殿 / 佐々木 史郎殿 / ★東京大学卒業20周年同期会(1993年入学)殿 / 川田 真殿 / 生島 哲殿 / 原 光胤殿 / 橋場 弘長殿 / ★津島 力雄殿 / ★匿名 / 平野 智一殿 / ★青木 芳郎殿 / ★東大蔵元会殿 / 岡部 比呂男殿 / ★匿名 / ★田中 正明殿 / 深澤 日出男殿 / 水谷 浩二殿 / ★奥川 学殿 / ★八十川 紀夫殿 / 西山 敬介殿 / ★匿名 / ★平川 淳殿 / ★加賀美 博之殿 / 柳 正男殿 / ★太田 邦史殿 / 中村 慧殿 / 匿名 / 大越 信吾殿 / 望月 隆殿 / ★坂本 俊吾殿 / 古賀 恵二郎殿 / ★中谷 俊昭殿 / 匿名 / 匿名 / ★片山 進亮殿

東京大学校友会支援基金に関するお問い合わせ

東京大学校友会事務局 03-5841-1227 (土日祝除く10:00~12:00、13:00~16:00)

140周年記念講演会 ダイ

「東大の歴史 日本の歴史」

加藤陽子 人文社会研究科教授



東西融合の場としての東大とはなんだろう」と考えるのが本日のテーマです。まずタイトルの含意です。火花がドーンとあがる某企業の息の長いCMのタイトルを意識しました。東大の歴史を語ることで日本の歴史が語れるのか、日本の歴史を語ることで東大の歴史を語れるか、その緊張関係が常にある問いです。

東西学術の精華が交錯する場としての東大

私は、東大を考える際に、東西学術の精華が交錯する場としての東大という視角を出したいと思います。五神総長の『変革を駆動する大学』（東京大学出版会、2017年）からキーワードをいただきました。「アジアの地にあって東西両洋の文化を融合し独自の形で学術を発展させてきた東大」（108頁）との定義があります。私は「アジアの地にあって」の書き方がとても大事だと思っています。東大が東西をつなぐにあたって、否定しようもない形でアジアのなかにいるのです。この東西融合を大学の歴史とともに考えていきたいと思っています。

『50年史』の世界

歴史家は仮説をたてながら、しかし史料を読みながら考えるということで毎回裏切られます。東大の歴史『五十年史』『百年史』があります。まずは『東京帝国大学五十年史』上・下（1932年刊）を読みながら、東西融合というのは一筋縄にいかないなと私が何故感じたかお話ししたいと思います。1000頁をこえる本の実質的執筆者は、国史学科の副手であった大久保利謙（としあき）先生お一人です。大久保利通の孫です。編纂の舞台裏の話『東京大学史紀要』などに書いておられます。大

変おもしろいことがわかりました。

1877年が東京大学の始まりと定義しますと、50年目は1927年に来るということで、5年前の1922年（大正11年）11月に評議会や学部長会議で「本学の起源を何年におくか」という議論がありました。1922年という年に、東大の総合的な一体感が確立されている時期であったということです。安田講堂が安田財閥の寄附によってプランが立ちはじめのは1921年です。何か東大としてのまとまりの記念をつくらうという思いがあった。ですから2015年に五神総長が総長になられる時に、140年を画期に次の70年を考えるというのは、自然なある種の意味があるということです。創設期の議論がなされる時は時代が動く時です。

1877年（明治10年）、文部省は東京開成学校と東京医学校を合わせて東京大学としました。東京大学としての一体感を感じ始めたのは、法理文の3つの学部がこの地に引越してきて医学部とあわせて4つの学部の建物が本郷に揃った1881年（明治14年）です。姉崎先生などは、明治14年が創設年としてふさわしいと考えました。

消えた大学

開成学校は「大学南校」と呼ばれ、医学校は「大学東校」と呼ばれています。では「大学」はどこなのか。1868年、政府は旧幕時代の昌平黌（昌平学校と改称）、開成所（元は蕃書調所、後の開成学校）、医学所（元は種痘所、後に医学校）を復興し、1869年に、昌平学校を「大学」に、開成学校を「大学南校」に、医学校を「大学東校」にしました。漢学の昌平黌と、水戸学、国学、平田学、皇学所も合わせて「大学」とした。ここで大変なことがおきました。維新政府のイデオロギーの結晶ともいべき国学と漢学が対立し、1870年（明治3年）に「大学」本体は閉

鎖になります。日本古来の国体とは何かとか、水戸学的な国家大事だ、危機のなかの日本だと若い人たちが動かされて討幕に動いた気持ちが学問から落ちます。そこが消えた大学というところ。「体」と「用」の区別を昔の人はしました。用は残ったが、体が抜けたのです。学問の中心として時代を動かした国学を客観的に分析する学が抜ける。このことに戦中期に東大は復讐されます。東洋倫理にしても国家主義的な形、軍国主義的な形で、本当の意味での国学ではないものが推奨され社会のなかで満ちてしまいます。

『百年史』の世界

『東京大学百年史』全10巻（1984年～1987年刊）は伊藤隆先生、寺崎昌男先生、中野実さん、若い研究者らで書いた100年史の通史です。1977年が100年目ですから、10年前の1967年に検討を始めました。しかし大学紛争があったため、仕切り直しが1974年。3年ぐらしか叙述の期間がなく、500ページ超の本を10冊つくったわけです。編集要綱には、「人材の育成、学術の発達において東京大学の果たした役割を明らかにする」とあります。この100年史の通史もいろいろな弱点がありました。明治10年代について、東京大学が大学南校、大学東校、つまり開成所と医学所で代表され、前身諸校中、工部省の工部大学校、司法省の司法省学校、東京農林学校など農学校、こういう国家がもっていたさまざまな学校が統合されたという観点が軽視されている点が批判としてはあると思います。この点、今は学説史上補正されています。

「『アジアの地にあって』の書き方がとても大事だと思っています」

東大が東西学術をつなぐ時、

ジェスト

10月21日のホームカミングデーでは、安田講堂において、オープニングセレモニーでの五神真総長、大塚陸毅東京大学校友会長の挨拶に続き、140周年記念講演会が開催されました。白波瀬佐和子広報室長の司会のもと、約600名の卒業生や関係者を前に、加藤陽子人文社会系研究科教授および池谷裕二薬学系研究科教授から「東京大学の過去から現在、そして現在から未来」について、歴史学と脳科学の立場から語っていただきました。

戦後70年の東大の歩みを 人材育成、学術の発達、 社会との関係性の中に位置づける

さまざまな東西融合論 -140周年の現時点からの捉え方

それでは140周年の考え方を含め東西融合をどう考えるかについて示唆を出したいと思います。私なりに「東京大学ビジョン2020」の読み解きになると思います。140周年というのは、120年+20年+今なのか。東京大学としては、70年+70年+次の70年だと決断していると思います。この見方を私はとても妥当だと思います。1945年8月15日、

9月2日に、日本のやってきた道は間違ったところから、アジアの中の日本であることを見直しながら再生する70年です。おそらく戦後70年の東大の歩みを人材育成、学術の発達、社会との関係性の中にきっちり位置づけ直すことで次の70年につなげる、そういう歴史になると思います。東大100年史は、第3巻で戦後の復興を南原繁、矢内原忠雄、そういう立派な人々を学問的にもフォローしながら書いています。私は原子力の技術を含め、東京大学の憲法学、化学、物理、農学、そういうものが戦前期の遺産を戦後にどう変えながら生き直したかということがすごく大事だと思います。それを各学部長、部局長、センター長の皆様が自分の学部の戦後史で何が達成されたか、腹をすえて書いていただきたいというのが150周年への願望であります。

後藤新平と内村鑑三の示唆

後藤新平は岩手の水沢生まれ、内村鑑三は高崎藩士の息子で、どちらも維新で負けた側です。後藤新平は福島の須賀川医専を出た後、ドイツで博士号をとりました。内村鑑三はアマースト大学で博士号をとっています。つまり、東京大学ではなく外で学んでいる人々です。後藤新平は政治家に似合わず文章が面白い。「日本にはあるいは独創の天才はなかったかもしれない。しかし同化の天才は雲のごとくにあった。多

くの政治家は思想哲学を生きた社会に用のない死学だと思っている。徳川幕府の政策が漢学、朱子学で駆動されていたように、王政復古が水戸学、国学で動いたように、哲学・思想というものがいかに社会を動かすかというのを、政治家である自分はわかっている」と。後藤は学問と俗がくっつかないといけない、政治家も人文学を捨ててはいけなくと言っています。抽象的な学問・思想が世の中を動かす、それを身にしみて知っている後藤は、すべての学問を俗である政治家は大事にしないとけない。日本が捨ててきた東の学問をもう一回みるのが、世の中を動かすものをつかむヒントだと言っています。

内村鑑三の東西の論は二つの「J」です。こんなことを言っています。「日本は東西の

混血児である。外面はヨーロッパかもしれない。しかし内面は支那である」と。内なる支那、ここに日本が踏みとどまる、そこから立ち上がる。東の学問、西の学問のブリッジをする時、真ん中で両方のいいところをとるというのではなく、日本の立ち位置を東に置くべきだと腹の底で決めていたのだと思います。後藤と内村、東大の立ち位置を考える際にものごく重要なことと思います。この虚学にもみえる東の学問を、日本の国学、平田学を初めとする何かイデオロギーに充ち充ちたエキセントリックな学問ではなく、きちっとやる。そこに踏みとどまることで世界を動かす思想を学ぶ。これは東大が140周年を迎えるにあたって、「消えた大学」として何を失ったかを考える大事なポイントだと思います。



「脳の 現在と未来」

薬学系研究科教授 池谷裕二

私 は現在から未来の話を、専門分野である脳の観点から考えてみます。

これからの社会の一つのキーワードは高齢化社会です。日本の女性の平均寿命は87歳で世界第2位です。統計的に重要なのはメジアン、中央値です。女性の寿命の中央値は90歳です。私たちが本当に知りたいのは、いまこの時点で生まれた人が何歳まで生きるかということではないでしょうか。カルフォルニア大学アーバイン校のシミュレーションでは、世界全体で、2007年に生まれた人の50%は100歳まで生きると予測しています。日本は107歳です。これを前提として私たちは将来何をしたら良いのか、子供たちは将来どのように進路を選んでいけば良いのかということを考えてみます。

将来を選ぶ二つの原理

将来を選ぶ方法には、夢や目標を持ってそれに向かって邁進する「目的主導型選択」と「消去法型選択」があります。この二択は土台自体が揺らいでいると言われています。ニューヨークタイムズの記事では、いまの小学生の65%は将来、現在はない職業につくということです。人工知能や新しい技術が出てきて時代が変わるということです。アメリカの陸軍士官学校の新入生に、志望動機を聞いた調査があります。大きく手段動機と内発的動機に分けられます。前者は、陸軍士官になることは何かの目的を達成するための手段とする人で、追跡調査をすると、手段動機の人ほど長続きしな

かったことがわかっていきます。好きにすることには理由がないというのがこの論文の結論です。将来どんな社会がやってきても順応できる柔軟性を磨くことが大事です。

やる気は脳のどこから生まれるか

心理学者のアルフレッド・ビネーは人の知能を支える三つの要素として、論理力、言語、熱意をあげています。一番大切なのは熱意です。知ることを楽しむ学問欲とやる気が大切です。やる気の発生する脳の領域をつきとめる実験で、脳の状態をMRIで測定すると、側坐核・淡蒼球が活動していました。掛け率の倍率を出す画像をほんの一瞬だけ出すいわゆるサブリミナル映像の実験をすると、100倍の掛け率をあらわす100円玉を認識できなくても、100円玉が出ていた時には側坐核が活動していました。体が反応しているのです。脳は無意識に情報を集め、無意識に判断し、無意識に行動することがわかります。無意識は意識では活性化できないということです。

笑うと楽しくなる

箸を口にくわえてマンガを読む実験です。唇にくわえた場合と、歯で噛んだ場合で、マンガの面白さを判定しました。歯で噛んだだけでマンガが面白くなるのです。私たちは楽しいことがあれば笑いますね。でも逆向きの矢印、笑うと楽しくなるという向きもあるということを示しています。つまり私たちの感情、心をひっぱってくるのは身体(からだ)である。身体がトリガーとなってところが生まれるという考えがいま非常に強くなっています。作業を開始することによって脳が興奮してくる。こういう現象を心理学者のクレベリンは作業興奮と呼びました。私たちの多くはやる気が行動の原因だと勘違いしている。やる気は行動の結果だということです。だからやり始めない限りやる気が出ないということになります。

直感とひらめき

直感とひらめき、似ているようで全く違います。あるときふと思いつくというのは同じですが、思いついた後が違います。ひらめきはその理由を人に説明できます。一方、直感はその理由がわからない。1、2、4、□、16、32とあれば、8だとわかります。このプロセスはひらめきです。なぜ8

かに説明できます。直観についてはブーバ・キキ試験という心理学のテストがあります。どっちが「ブーバ」どっちが「キキ」か。ほとんどの人が、右がブーバだとこたえます。これは直感です。脳科学的に言うと、直観とは本人に理由がわからないまま答えが出てしまうことを言います。

プロ棋士がいい手を指すのは直感に従っています。プロ棋士が直観を働かせているときに脳のどこを使っているか調べてみると脳の線条体という場所です。線条体はもともと体をスムーズに動かすのを制御するための場所です。手続き記憶と言いますが、直観とは運動、体の動きと共通点があって、無意識、自動的、迅速、正確とのポイントがあります。

直観とは長年の経験によって培われた経験則みたいなものです。中年から高齢者は直観が強い。若者にはひらめきという論理力が使えます。しかしひらめきには欠点があります。時間がかかるということ。論理的に考えないとなりませんから、資料に全部目を通さなければならない。もし根拠として目を通した資料が間違っていたら結論を誤ってしまいます。ひらめきの欠点は正しさが保証されていないことになります。

一方、直観は正しいのです。過去の脳の中に蓄積されている膨大な情報、今、目の前にある人々の顔とかさまざまなシグナルを捉えて瞬時に判断する。ですから私は直観が使えるのであれば直観を使うべきだと主張したいのです。でも直観は今の世の中では恐ろしく分が悪いのです。なぜかという説明責任、すぐに説明しろと言われるのですね。何かいい案を思いついても、データを使って理路整然と説明することが求められます。脳のなかに直観というすばらしい能力があると判明した現在ではもう少し直観を大切にしたいと思います。

加齢と記憶力

ここに並んでいる単語リストを眺めてみてください。30分後に別の単語リストを見て、先のリストにあった単語はどれですかと聞くというものです。これは記憶力を問う試験です。18~22歳の若者と、60~74歳の年配者と較べると、年をとっても記憶力は落ちていないのです。年輩の人は、記憶力テストと聞いてやった場合、心理テストと聞いてやった場合より点数が落ちます。若い人は

変わりません。年を取ると記憶力が衰えるとの自己暗示が能力を低下させているのです。本当は記憶力と加齢の関連はないのです。

困難学習・地形学習・交互学習

いい勉強法について、ここ10年、20年で概念が大きく変わってきています。まず困難学習。25年前、ビョーク夫妻が学習はつらい方が深く定着すると述べました。次は地形学習です。90cmのところからの玉入れで、一つのグループは90cmで、もう一つのグループは60cmと120cmを交互に練習します。本番では、一点だけの位置学習より、力の入れ具合を学習している地形学習の方の成績が良かった。これと似た話が交互学習です。訓練する順番が大切だと言うのです。美術の時間、画家の画風をマネ、モネ、セザンヌと単元ごとに学習するのがブロック学習。画家をシャッフルして勉強するのが交互学習です。後者のほうが効果的です。ネズミの迷路実験でネズミは実験を繰り返すうちに最短距離でエサに到達するようになります。遺伝的には同じネズミです。最初にたくさん失敗したネズミほど少ない日数で最短経路に達します。検索の失敗が学習を促進する。答えを推測することにこそ意味がある。失敗に負けない熱意こそ大切なものです。

ニューロフィードバック

脳の活動をコントロールする海馬の神経活動を活性化する方法がニューロフィードバックです。モニターで脳の活動を記録しながら、リアルタイムに情報をフィードバックすると、脳活動を上げたり下げたりコントロールできます。やる気が出る脳部位は側坐核です。ニューロフィードバックで本人にどうやって側坐核を活性化させたのかと聞くと、多くの人が楽しいことを想像したと答えています。これからの70年に向けて楽しくご機嫌に生きることを。知ることを楽しむ学問欲があれば、

柔軟に対応できます

やる気は行動の原因ではなく結果

1 大講堂(安田講堂)

登録有形文化財(1996登録)



大講堂は安田善次郎の寄附の申し出により内田祥三、岸田日出刀らの設計により建設が行われました。工事中に関東大震災により一部に被害を受けたことから、構造強化の設計変更が行われた上で1925年に完成しました。その後、1990年に内部の大改修が行われ、東日本大震災(2011年)による被災を受け、2014年に耐震補強、天井の軽量化、講堂内部の保存・再生等の大改修が行われました。同改修による創建時の意匠復元と機能上の課題克服の両立が評価され、BELCA賞ベストリフォーム部門を受賞しました。

2 総合図書館本館(改修前)

当初の総合図書館はレンガ造りのゴシック様式で1892年に完成しました。その後関東大震災により全焼しましたが、ロッキフェラーからの寄附を受け、内田祥三の設計により現在の総合図書館本館として、1928年に再建されました。正面玄関の外観は本欄に本を並べた様子がデザインされています。本館建設後は、時代に合わせて様々な修繕等が行われてきましたが、外観や玄関正面の大階段など、当時のままの意匠が引き継がれています。創立140周年記念事業の一環として、現在、大改修中。

3 農学部1・2・3号館

内田祥三の設計により、農学部1号館は1926年に、2号館は1936年に、3号館は1941年に完成しました。3つの建物で一体的な歴史的景観を作っており、1号館と2号館は左右対称です。農学部の敷地は、江戸時代には水戸藩の中・下屋敷があり、明治時代に入ると旧制第一高校(一高)の土地になりました。1935年駒場にあった農学部と用地交換で、農学部は弥生へ一高は駒場へ移転。水戸藩の儒学者であった朱舜水の記念碑と、一高が弥生に存在したことを記念して作られた「向陵碑」が弥生キャンパス内にあります。

4 野球場観覧席・ダッグアウト及びフェンス

登録有形文化財(2010年登録)



内田祥三の設計により震災復興事業の一環として、1937年に完成した野球場施設(約600人収容)です。バックネット裏の観客席につけられた半円形状の屋根を鉄筋コンクリート造のアーチ構造によって支えており、野球場に屋根を付けること自体珍しかった当時では、非常に先端的なデザインでした。観覧席の下には控室や更衣室などが、グラウンド面にはダッグアウトが設けられており、その両翼にはコンクリート製のフェンスがグラウンドを囲っています。野球場施設として全国で初めて文化財に登録されました。

5 正門及び門衛所

登録有形文化財(1998年登録)



伊東忠太の設計により1912年完成した冠木(かぶき)門という伝統的な形式の門です。最上部の冠木には、瑞雲(めでたいこの前兆として現れる雲)の間から昇る旭日、扉には波立つ海を象った青海波(せいがいは)と唐草模様を描かれています。冠木と大扉は1988年にレプリカに改修され、オリジナルは駒場IIキャンパスに保存されています。

6 旧加賀屋敷御守殿門(赤門)

重要文化財(1931年指定)

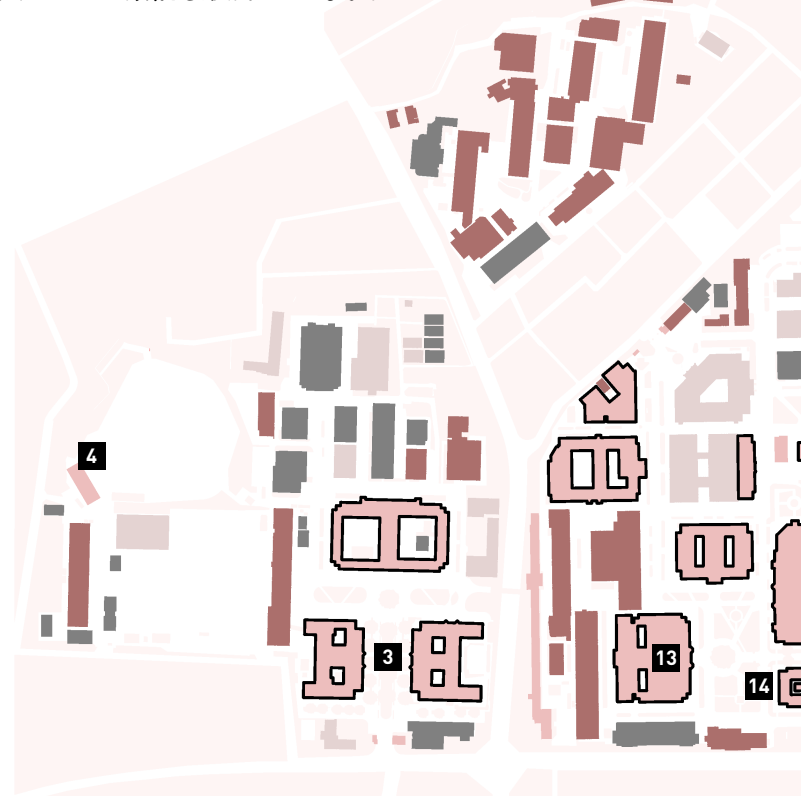


御守殿とは、三位以上の大名に嫁いだ徳川将軍家の娘またはその住まいをいい、加賀藩13代藩主前田斉泰が徳川11代将軍家斉の21女浴姫を正室に迎えるため、1828年に建立されました。創建時は現在より15mほどキャンパスの中にありましたが、校舎新設のため1903年に現在の場所に移築されました。瓦には現在4種類の紋が入っていますが、創建時は全て徳川家の「葵」ばかりで、1903年の移築時に鬼瓦を「學」に、1926年の修繕で軒瓦を前田家の「梅鉢」に交換されたようです。

本郷キャンパス 戦後・そして

東京大学は1877年に創立しました。

第二次世界対戦により広大な面積が焦土と化した東京でしたが、本郷キャンパスは大規模な空襲を受けず、内田ゴシックによるキャンパスがほとんど変わらずに残っていました。現在でも当時の建物の大部分が利用されており、キャンパスの景観を形成しています。

**7 懐徳館庭園**

(旧加賀藩主前田氏本郷本邸庭園)

指定文化財(名勝)(2015年指定)



本学の総長迎賓施設「懐徳館」に附属する庭園です。江戸時代の加賀藩上屋敷の一部に由来し、ここに明治・大正期に本邸を構えた前田侯爵家が造営した庭園を継承しています。東京大空襲により懐徳館と庭園は焼失しましたが、造営当初の姿を概ね留めた姿で1951年に復元・修復されました。当初の主要建物であった西洋館及び日本館は戦災で失われ戦後現在の懐徳館に変わっていますが、造営時から残る主要な建造物である石橋等が現存しています。平常時は総長等の迎賓施設として使用され、毎年1回ホームカミングデイ開催時に一般公開しています。

8 育徳園(三四郎池)

1615年の大坂夏の陣の褒美として、加賀藩前田家は幕府から現在の東京大学の一部及びその周辺地を賜りました。その後1629年に、徳川13代将軍家光・大御所秀忠の御成があり、それに先立ち庭園を整備したと考えられています。育徳園の命名は前田家5代藩主綱紀によります。また、池の形が「心」に似ていることから「心字池」が正式名称ですが、夏目漱石の小説「三四郎」の舞台であったことから「三四郎池」と呼ばれることが多くなりました。庭園の整備から今日まで部分的な改変はありますが、江戸時代からの歴史性を継承するキャンパスの代表的な空間となっています。

江戸時代～東京大学創立(1868年～1877年)

関東大震災前(1877年～1923年)

関東大震災後(1923年～1945年)

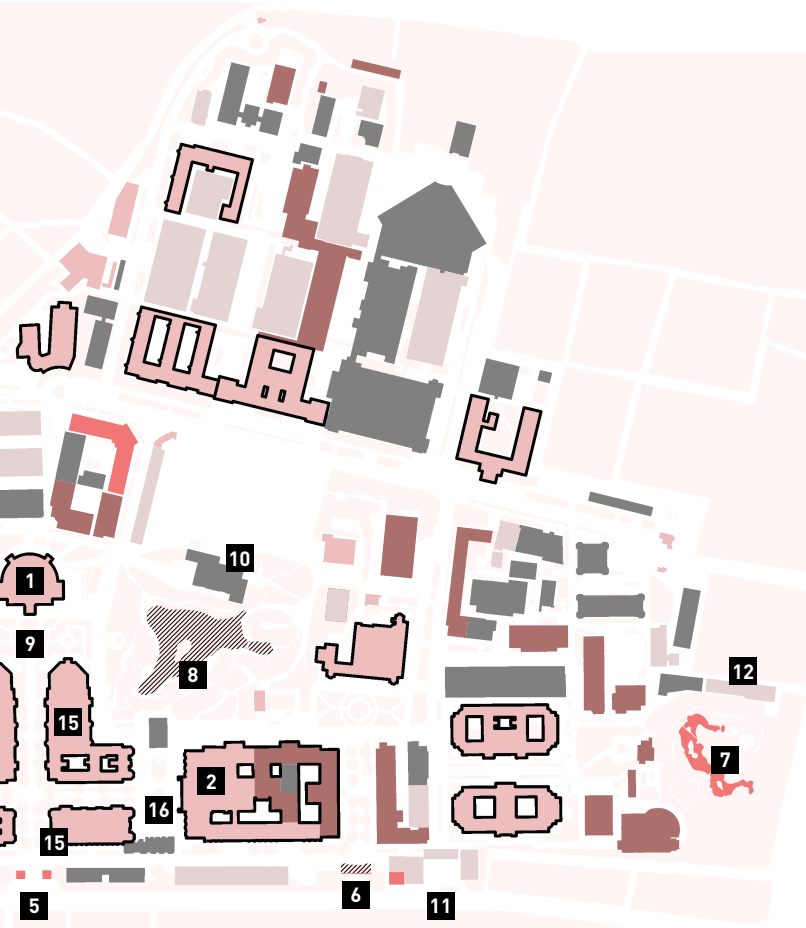
第二次世界大戦後(1945年～1975年)

高度経済成長期以降(1975年～2003年)

大学法人化後(2004年～)

□内田ゴシック

現在



11 伊藤国際学術研究センター



セブン&アイ・ホールディングス名誉会長の伊藤雅俊氏及び同夫人伸子氏による寄附により設立されました。学生会館分館跡地に赤門脇のレンガ造りの既存倉庫を取込み形で計画され2012年に完成しました。本郷通りのレンガ塙とも調和のとれたデザインとなっており、通りに面した前庭が整備されています。地下には約500人収容可能なホールがあり、国際会議やシンポジウム等で利用されています。

12 情報学環・ダイウユビキタス学術研究館



大和ハウス工業株式会社による建設・寄贈で2014年に完成した最先端教育研究施設です。約130人収容可能なホールや実験室が整備され、ウロコ状に並ぶスギ板のファザードが特徴的です。懐徳館庭園側の外壁は庭園からの景観に配慮し、透過性のある土壁仕上げとしています。また1階の和カフェ「くろぎ」では、庭園の緑を楽しむことができます。

13 工学部1号館 登録有形文化財(1998年登録)



旧工学部本館(旧工科大学本館、1888年完成、辰野金吾)は関東大震災により焼失し、内田洋三の設計により現在の1号館として1935年に完成しました。その後キャンパスの狭量化により建物の存続が危ぶまれましたが、1996年に中庭を製図室等として利用するという、当時は珍しいノベーションの手法を取り入れることで、新たな教育研究スペースの確保と歴史的な建物の保存の両立が図られました。

14 工学部列館 登録有形文化財(1998年登録)



内田祥三の設計により1925年に完成しました。建設途中に関東大震災が発生しましたが、震災復興計画に符合する形で完成した最初の建物です。当初は学術標本を展示する博物館として使用する予定で建設され、かつては建築家・伊東忠太や関野貞らの収集した中国や朝鮮での調査資料が陳列されていたこともありますが、現在は工学系・情報理工学系等事務室として使用されています。

15 法文1号館・2号館、法学部3号館 登録有形文化財(1998年登録)



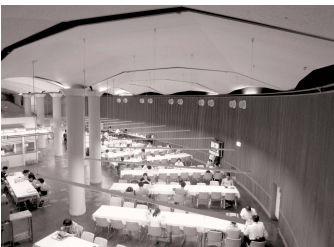
内田祥三の設計により震災復興計画に基づく建物として、法文1号館は1935年、2号館は1938年、法学部3号館は1927年に完成しました。1号館、2号館の南北を貫く1階部分のゴシック様式のアーチードが特徴。キャンパスの狭量化に伴い、1976年には法学部3号館の屋上、1996年には1号館の中庭、2011年には法学部3号館の中庭に増築工事が行われました。増築に際しては、古い建物と馴染むよう、あらかじめ発錆させたコルテン鋼が採用されました。イチョウ並木の両側を担う本郷キャンパスの顔です。

16 総合図書館別館 (ライブラリープラザ)



総合図書館本館前は噴水と石張の広場がありますが、その地下約50mには約300万冊が収容可能な自動化書庫とライブラリープラザからなる別館が建設。もともと噴水広場として利用されており、広場を存続させるため地下へ書庫を建設することとなりました。関東大震災で焼失した旧総合図書館のレンガ基礎や江戸時代の排水溝跡が発掘されたため、レンガ基礎については広場のベンチとして、排水溝跡については仕上げ材の一部として、発掘された場所の直上で再利用することで当時の記憶を保存しています。

9 中央食堂(改修前)



1976年に完成した大講堂(安田講堂)前の地下の食堂です。安田講堂前の景観を保全する目的で地下に建設されました。1994年の大規模改修では、地下の大空間構造のための残響や自然光が入らないことによる視覚的暗さの改善のため、天井や照明、壁材など空間構成を大きく変化する改修となりました。現在、創立140周年記念事業として改修工事をしており、創建当初の意匠の復元を計画しています。

10 山上会館(改修前)



もともとは築山であったこの地に富山藩邸の一部が移築された「山上御殿(さんじょうごてん)」がありましたが、関東大震災により焼失し、その代わりに「山上会議所」が建設されました。その後、創立100周年記念事業の一環として改築が行われ、前川國男の設計により現在の山上会館として1986年に完成しました。現在は創立140周年記念事業として、大規模なリノベーションを計画。なお、向かいにあるグラウンドは「御殿」の下にある運動場なので「御殿下グラウンド」と呼ばれています。

同窓会だより

同窓会活動・設立レポート

01 発展する
地域同窓会の活動

2014年に全国47都道府県に東京大学の同窓会が出揃い、日本各地で同窓会の活動が開かれています。東京大学同窓会連合会では、東京大学同窓会連合会ニュース「ただひとつ」などを通して各地の活動の情報発信に努めるとともに、地域同窓会の活動拠点の充実や各地同窓会の周年記念総会への大学役員・幹部の出席による大学との連携を強化しています。

静岡県では、活動中の静東銀杏会(沼津市)、静岡中部銀杏会(静岡市、活動停止中)に次いで浜松銀杏会が2017年11月28日に設立総会を開催しました。また長崎銀杏会が同窓会連合会に新規加入するとともに、東京大学校友会に登録されました。周年記念総会については、昨年7月以降、5周年が青森東同窓会(7月)、鳥取赤門会(8月)、15周年が福井銀杏会・栃木銀杏会・京都東大会(9月)、山梨銀杏会・香川銀杏会(11月)でそれぞれ開催されました。また2月26日には東海銀杏会が30周年を祝います。

地域との連携を深め、地域の課題と向き合っていくことは東京大学の重要なミッションであり、卒業生室としては同窓会連合会とともに地域同窓会の会員拡大と活動の支援に取り組んでまいります。



浜松銀杏会
設立総会

02 東京銀杏会新年会開催
「留学生と交流する会」に
感謝状贈呈

2018年1月22日(月)、大雪の中、会場の第一ホテル東京(新橋)において、東京銀杏会新年会が開催されました。篠沢恭助会長挨拶、松木則夫理事・副学長の来賓挨拶に続き鏡開きが行われました。会の中頃、東京大学の発展に多大な貢献をされた東京銀杏会「留学生と交流する会」への表彰が行われ、16年間主導された代表の田中寿徳氏に、松木理



松木則夫理事より
田中寿徳氏に
記念品贈呈

事より東京大学五神総長からの感謝状と記念品(ペーパーウェイト)が贈られました。田中氏のお礼の挨拶の後、新年会に招待された約10名の留学生の自己紹介がありました。

03 在韓東京大学総同門会総
会&フォーラム開催

韓国人卒業生を中心とする在韓東京大学総同門会は2018年1月25日、ソウル市内の韓国科学技術会館において、日本人卒業生の会であるソウル東大会メンバーも参加して、恒例の新年会(総会)を開催しました。総会に先立ち開催された「韓日国際フォーラム」では「日韓関係の現況と展望」、「原発被災地域の避難指示解除と日本政府の取組」、「創造基盤、未来の大学」の三つの講演とディスカッションが行われました。それぞれ複雑な背景をもつテーマに正面から取り組む意欲的なフォーラムでした。総会では、パクジョンゴン会長の挨拶、長嶺安政在韓国日本大使よりの祝辞に続き、総同門会元会長のイヨンスンソウル大学名誉教授への「誇らしい東大人賞」授与式が行われました。



会場となった韓国
科学技術会館にて

04 東京大学
スリランカ同窓会設立

豊かな自然と文化をもつ世界遺産の島スリランカ。このスリランカに東京大学の53番目の同窓会が発足しました。2017年9月3日、スリランカの中心都市コロombo市内のHARTI(Hector Kobbekaduwa Agrarian Research and Training Institute)にスリランカ人を中心に15名の卒業生が集まり設立総会が開催されました。会長にはIndika Palihakkaraさん(ルフナ大学教員)が選出されました。菅沼健一在スリランカ日本大使、JAAGAS(スリランカ日本留学生会)会長、コロombo大学のKarunaratne教授(研究者として東洋文化研究所に在籍された)からご挨拶



会場となったコロ
ombo市内HARTI
にて

をいただきました。現在、スリランカ同窓会では、2018年度の東京大学体験活動プログラムに向けて、Sustainable Developmentをテーマとしたフィールド体験で学生を受入れる企画の検討が進められています。

05 体験活動プログラム

学生の休業期間を利用して、学部学生に対し、国際体験、ボランティア体験、地域体験などさまざまなオフキャンパスの体験の機会を提供する体験活動プログラムも2012年度の開始から6年目を迎え、今年度も国内外の多くの同窓会の協力により、200名近い学生を受入れていただきました。今年は「特別功労賞」が、シカゴ赤門会、三四郎会、明石市(赤門市長会)に贈られます。

東京大学校友会顕彰制度が始まりました



2018年1月より校友会顕彰制度を開始いたしました。東京大学校友会のために多年にわたりご貢献いただきました個人に対し、感謝状と校友会ロゴ入りのペーパーウェイトを贈呈させていただきます。

新規登録団体のご紹介

地震研究所同窓会

世話人代表 中塚 数夫さん(地震研在籍)
学部・学科同窓会

長崎銀杏会

会長 塩飽 志郎さん(68年法)
地域同窓会

浜松銀杏会

会長 北脇 保之さん(74年法)
地域同窓会

東京大学スリランカ同窓会

会長 Indika Palihakkaraさん(16年農生修)
海外同窓会

東大華道部柏蔭会

会長 高橋 雄一さん(78年理)
運動会・サークル同窓会

登録団体数 300 (2018年1月31日現在)

学部等同窓会	45
地域別同窓会	52
海外同窓会	53
運動会	29
文化サークル	18
職域特定分野同窓会	40
クラス会(専門課程同期会)	13
クラス会(駒場)	50

2018年 第17回 東京大学ホームカミングデー 10月20日 土曜日 開催

特別フォーラム

「からだ」と「こころ」のフロンティアに挑む

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、今回の特別フォーラムは「からだ」、そして「からだ」と不可分である「こころ」にテーマを据えました。「からだの未来」、「こころの発達」の最先端研究

に携わる講師を招き、その研究の一端について講演いただきます。学内の15もの研究科・研究所が参加する全学研究組織「東京大学スポーツ先端科学研究拠点」の取り組みも紹介します。

登壇者



東京大学
スポーツ先端科学研究拠点
拠点長

石井直方 教授



東京大学
先端科学技術
研究センター

稲見昌彦 教授



東京大学
総合文化研究科

酒井邦嘉 教授

東京大学のホームカミングデーでは、卒業、入学年次の同期が集います。これは学部学科を超えた大同窓会で、例年目玉企画のひとつとなっています。2018年は以下の3つの学年会を開催いたします。



20周年学年会

1994年入学/98年卒業/98年院入学/00年医学部卒業



30周年学年会

1984年入学/88年卒業/88年院入学/90年医学部卒業



40周年学年会

1974年入学/78年卒業/78年院入学/80年医学部卒業

詳細は決まり次第、メールマガジンやwebサイト等でお知らせいたします。

オンラインコミュニティ「TFT」のご案内

東京大学と卒業生をつなぐオンラインコミュニティ「TFT」。

大学・先輩・同窓とつながる東京大学ならではのシステムです。登録以来1度もログインしていない方、メールアドレスや勤務先などの情報更新をしていない方は、この機会にご確認ください。

また、大学と卒業生をつなぐ広報誌『東大校友会ニュース』は、紙版か電子版(メール)の購読を

選択することができます。新年度には新たな特典も加わり、よい一層のサービス拡大に努めています。ぜひご活用ください。

QRコードから
飛べます



特典・サービス

- ▶ 安田講堂見学会にご招待 (年2~3回)
- ▶ 学内外で開催する人気講座の優先枠
- ▶ 有名ホテル・レストランの優待価格
- ▶ 東大卒業生限定ブライダルプラン
- ▶ 婚活パーティー・セミナーのご案内
- ▶ 六大学野球東大野球部開幕戦のチケットプレゼント
- ▶ 生涯変わらないパーマネントアドレスの取得
- ▶ アラムナイラウンジのご利用
- ▶ 提携団体・企業等による公演チケット優待 (シーズンによって異なります)
- ▶ 大学のトピックや最新の情報をメールマガジンでお知らせ

※パーマネントアドレスからのメール発信はできません。

パーマネントアドレスへ送られたメールは、TFTに登録されているメールアドレスへ転送されます。



お問い合わせ

東京大学卒業生室 tft.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

掲載広告インデックス

鹿島建設	9P
日本旅行	13P
ブライダル	表3
JR東日本	表4

編集発行/東京大学卒業生室
松木則夫(卒業生室長)
アートディレクション/細山田光宣
デザイン/河村織恵
表紙イラスト/門坂 流
印刷/図書印刷
発行/2018年3月9日

東京大学校友会事務局
〒113-8654
東京都文京区本郷7丁目3番1号
TEL:03-5841-1227
FAX:03-5841-1054
Email:utaa.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp
URL : <http://www.u-tokyo.ac.jp/index/alumni.html>

